



地方独立行政法人 広島市立病院機構  
広島市立広島市民病院

初期・後期

# 研修ガイド

2020



URL:<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

# 広島市立広島市民病院の研修ガイド 2020 へようこそ



病院長 荒木 康之

専門医制度の変更に伴い、専攻医（後期研修医）の研修システムが変更になりました。その中で、初期研修、後期研修の病院をどうやってみつけようか、迷っていらっしゃると思います。

「いろいろな疾患の患者さんをたくさん診たい」と思っている方は、ぜひ、広島市民病院を選んでください。ER 型救急、総合診療を行っており、救急、総合診療の現場では、初期研修医、専攻医が診療の中心になります。当院の一番の長所は、よくわからないで入院した患者さんの診断がつくことです。各診療科に専門医が豊富で、各診療科の垣根が低いので、診断や治療に困った患者さんの相談ができやすい雰囲気があります。そのことで、めずらしい疾患の診断が確定できており、治療が独りよがりにならずにすんでいます。

「指導医が充実した病院に行きたい」と思っている方も、広島市民病院はおすすめです。各診療科ともに、優秀なスタッフがそろっており、初期研修医、専攻医を病院全体で育てようというマインドがみなぎっています。また、広島県内で一番たくさんの患者さんを診させていただいています。それだけ、広島市民、広島県民から信頼されている病院だということと、自負しています。

ぜひ、広島市民病院で一緒に診療して、もっともっと素晴らしい広島市民病院にしていきましょう。

## 研修管理委員長



副院長／総合診療科主任部長  
岡本 良一

当院は、広島市の中核病院であり、がん診療連携拠点病院としての高度医療と、北米 ER 型救急を目指した救急医療の両立に積極的に取り組んでいます。

さらに総合周産期母子医療センターやスーパーICU、日本で4番目に設置された救命救急センターでの循環器、脳血管疾患等の総合的医療も充実しています。その中で初期臨床研修医にも実働メンバーの一員として重要な役割を担ってもらっています。多岐にわたった豊富な症例を経験することができ、どの診療科も積極的かつ教育熱心な熱い指導医がそろっています。また後期研修医が指導医とともに初期研修医を指導する屋根瓦式の指導を行っており、きめ細やかな対応をしています。研修プログラムは自由度が高く、希望に応じた選択が可能です。研修管理委員会も当院で初期研修を修了した指導医や初期臨床研修医にも参加してもらって、自由な意見を述べてもらい、研修医の意見を反映しながらより良い研修になるようにしています。また、up-to-date の使用も可能です。中四国最大の繁華街流川に近く、マツダスタジアムパーティーベランダでのカープ観戦を初めとしたレクリエーションも盛んで、充実した研修ができるはず。やる気のある元気な研修医を望んでいます。良い研修、良い医療を行なうためにぜひ我々と一緒に働きましょう。

## プログラム責任者



集中治療科／主任部長  
藤中 和三

広島市立広島市民病院は高度先進医療と救急医療の両立に積極的に取り組んでいる活気に満ちた研修病院です。

地域がん診療連携拠点病院として各科のがん診療は、全国レベルの症例数を誇っており、最先端のがん診療を研修するのに最適です。県内に2施設の総合周産期母子医療センターの一つでもあり、小児診療も充実しています。救急医療においては広島市の救急の中核を担っており、北米型ERを理念に掲げたERにおいては県内トップの救急車の対応をしつつWalk-inの患者さんの診療に取り組んでいます。全国でも有数の歴史を誇る救命センターでは、ホットラインから入る多数の循環器・脳血管疾患を扱っています。

このような高度先進医療と救急の両立は院内の医師の専門性にも影響を与えています。各科のSpecialistが揃っているのに加えて、ER・総合診療科・麻酔集中治療科等Generalistが充実しており、これが研修病院としての魅力の一つと考えています。

この規模の病院としては比較的少人数の定員数で「顔の見える」研修が可能で、病院全体で研修医を暖かく育てていく環境が出来上がっていて、初期研修終了後に多くの先生が後期研修医として当院に残っている事実が充実した研修を証明してくれていると思います。

医学生の方皆さん、是非当院で臨床最前線の研修を行い、引き続き当院の仲間として一緒に働いていきましょう。

# 初期臨床研修プログラム概要

募集定員  
13名

～ 当院の初期臨床研修プログラムの概要をご紹介します。～

## 1 プログラムの到達目標

医師は、病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識し、医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けなくてはなりません。医師としての基盤形成の段階にある研修医は、**基本的価値観**を自らのものとし、**基本的診療業務**ができるレベルの**資質・能力**を修得します。

### A. 医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与
2. 利他的な態度
3. 人間性の尊重
4. 自らを高める姿勢

### B 資質・能力

1. 医学・医療における倫理性
2. 医学知識と問題対応能力
3. 診療技能と患者ケア
4. コミュニケーション能力
5. チーム医療の実践
6. 医療の質と安全管理
7. 社会における医療の実践
8. 科学的探究
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

### C 基本的診療業務

コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、以下の各領域にて、単独で診療ができる。

1. 一般外来診療
2. 病棟診療
3. 初期救急対応
4. 地域医療

## 2 プログラムの特徴

- 各診療科に、十分な指導医がいます。
- 救急外来当直を通じて、初期診療対応力をつけることができます。
- 地域の中核病院、急性期病院の特徴を生かし、豊富な症例を経験することができます。
- 将来像をゆっくり考えたい方や初期研修の間に色々な研修をしたい方は、選択研修期間（44週以内）に、希望する複数以上の科の組み合わせを選択することができます。
- 将来選択する専門科が決まっている方はより長い期間専門科にて研修することができます。
- 地域医療研修では、当院にて研修しにくい疾患を経験できる病院を設定しています。

## 3 プログラムのカリキュラム

### 基本ローテーション

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 / 24週以上 (消化器内科, 腎臓内科, 内分泌・糖尿病内科, 脳神経内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 一般外来)						救急部門 / 12週以上 (救急科, 麻酔科)			脳神経外科	自由選択	外科
	並行してER当直											
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択							
	並行してER当直											

注) 基本的なローテーションです。実際には研修医ごとに異なります。また月3回程度の当直(救急外来)があります。

- ◆ 内科24週以上、救急12週以上(麻酔科含む)、外科他各科4週以上(外科、小児科、産婦人科、精神科、脳神経外科及び地域医療)、選択科目44週以内のブロック研修を行います。
- ◆ 内科24週以上の内訳は、消化器内科8週以上、腎臓・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科の各科を4週以上とします。
- ◆ 地域医療は必ず2年次にローテートし、一般外来、在宅医療、地域包括を含めます。協力施設より選択しローテートを行います。
- ◆ 選択科目は、将来の専攻科を中心に関連のコースを自由選択し、ローテートします。
- ◆ 一般外来(4週以上)は、内科、地域医療、選択科での研修中に並行研修します(当院内で行う場合は総合診療科にて行います。)
- ◆ 研修医は各科のローテートと並行して、通年ER当直を行います。

### 地域医療及び協力施設

翠清会梶川病院(脳神経外科・デイケア) / 曙会シムラ病院(外科・整形外科・緩和ケア) / 広島通信病院(内科・初期内科) / 広島市立舟入市民病院(小児科・小児救急) / 中西内科(プライマリケア・開業医) / 福島生協病院(内科・在宅医療等) / 庄原赤十字病院(外科他) / 正岡病院(産婦人科) / 広島市こども療育センター / 広島市立リハビリテーション病院 / 徳洲会瀬戸内徳洲会病院 / 藤井病院 / みやたけ医院 / はしもとじんクリニック

# 研修医の一日



# 救急科研修

～ 初期・後期臨床研修医の皆様へ ～

当院救急科では、救急科専門医9名をはじめとする、救急外来専従の医師による診療を行っています。

初期研修では2年間を通して毎月2～3回の救急科当直と、1年次に2か月のローテーション研修を上級医と行うことで救急診療に必要な鑑別診断能力や初期治療能力を身につけることができます。

後期研修では診療科によって、2～3ヶ月間の救急科専従ローテーションがあり、初期研修で身に付けた診療能力をベースに救急診療に必要な症例を経験することができます。

## 《救急科後期臨床研修医を募集しています》

当院救急科では多彩な症例経験はもちろん、ERリーダー医師としてのマネージメントを身につけることができます。必要な臨床経験は年単位の院外研修(下記参照)や、院内においても月単位の内科・循環器内科・ICUなどを選択可能で、病棟管理や集中治療管理を学ぶこともできます。

## 研修カリキュラム

救急科専門医プログラムの基幹型研修施設です。

広島大学病院高度救命センター  
岡山大学病院高度救命救急センター  
兵庫県災害医療センター  
広島市立安佐市民病院高次診療部  
が主な研修病院です。

3年間で救急専門医取得を目指します。



## 当院救急科の特徴

### ■ 北米型 ER

当院救急科は、2006年のER開設時から北米型ERのスタイルをとることで、多くのwalk in、救急搬送による受診患者の診療に対応し、広島市の救急医療の中心的役割を担っている。救急科としての入院病棟を持たず、3交代制での外来業務を専従して行っている。

### ■ 豊富な症例数

立地条件やアクセスのよさもあり、walk in、救急搬送数ともに受診患者数は県内トップ。特に内因性疾患が多いのが特徴であり、内科、循環器内科、脳神経系の疾患に関しては数多く経験することができ、同一疾患でも様々な重症度や非典型例など多彩な症例経験を積むことができる。そのなかで、診療能力の幅や急性期治療・判断能力を身につけたり、稀な疾患なども経験することができる。

### ■ 各診療科のバックアップ

当院は743床、37診療科を有する広島市の中核病院であり、各診療科のバックアップも充実している。夜間当直は内科、外科、小児科、循環器内科、脳神経系、ICU、産婦人科の主要診療科の医師が待機しており、その他診療科においても365日院外on call体制がしかれており、十分なバックアップ体制がある。

### ■ カンファレンス、勉強会

日々の診療のみならず、off the job trainingとしてのカンファレンス、勉強会も充実している。救急科のみのカンファレンスを毎月2回、総合診療部、循環器内科とのカンファレンスをそれぞれ毎月1回行い、コンサルト症例などを中心に症例の振り返りや、レクチャーを行うことで知識・診療能力の向上や診療科間のコミュニケーションの場となっている。救急科医師による初期研修医への勉強会は毎月1回行われている。院外では2ヶ月おきに広島大学高度救命センター、県立広島病院救命センター、安佐市民病院高次診療部、JA総合病院救命センターと合同カンファレンスがあり、また広島地区の若手医師を中心とした勉強会の開催も積極的に行っている。

## 北米型 ER とは？

24時間 365日、walk in 救急搬送などの搬送方法によらず、また1次から3次までのあらゆる重症度の患者診療を行う。救急科で初期評価・初期治療を行い必要があれば適切な診療科へ引き継ぎ、専門的加療を依頼する。

## 広島県トップ の実績

年間救急患者数 31,577件

年間救急車搬入数 7,101件

2019年4月～2020年3月実績

## 後期臨床研修医からのメッセージ

Tsukizawa Yoshiaki

築澤 良亮

(2016 年度研修医)

2018 年度から

産婦人科 後期臨床研修医  
(専攻医) として勤務

“ 豊富な救急症例, 各科の高度な  
専門医療, 熱い指導医 ”

その全てを市民病院で経験することができます。当直では救急外来 Walk in 患者を初期研修医がメインで診ることになるのですが、腸炎やインフルエンザから脳梗塞・心筋梗塞まで、なんでもありです。でもひとりぼっちで診るわけではありません。夜間も指導医の先生方が各科いらっしゃるので、十分なサポートのもと最前線で診察を行えます。こんな欲張りな病院は他にないと思います。楽しく充実した研修を送れること間違いなしです。興味があれば是非一度見学に来てください！

“ 医師としての第 1 歩を当院で ”

皆さんはもう志望科を決めているでしょうか。広島市民病院にはほぼ全ての診療科がそろっており、志望科を重点的に研修することも、様々な科を研修することも可能です。また救急診療にも力を入れていて、多くの common disease を経験できます。もちろん熱い指導医の先生方が、しっかりサポートして下さるので、不完全燃焼で終わることはありません。

最初の初期・後期研修で学んだことは、その後の医者人生に大きな影響を与えていると言われています。自分も初期研修から広島市民病院で学んでいるからこそ、当院での研修を強くおすすめできます。是非一度当院に見学に来て下さい！

Mijushima Hidetaka

水島 秀崇

(2017 年度初期研修医)

2019 年度から

内科 後期臨床研修医(専攻  
医) として勤務

**Fukushiro Yuki**

**福代 有希**

(2017 年度研修医)

**2019 年度から**

**呼吸器内科 後期臨床研修  
医 (専攻医) として勤務**

**当院は多くの魅力に**

**あふれています！ ”**

市民病院は各診療科が揃っており、とても指導熱心な specialist の先生方が多数いらっしゃるのので、症例数・教育面ともに非常に充実した環境が整っています。“やる気”があれば研修医のうちから学会発表や論文作成などに積極的に取り組むことができます。熱心な先生方の姿を目の当たりにしつつ、各診療科での研修に励むうちに、現時点では志望科が定まっていなくても、きっと自分の目指すべき医師像が見えてくることと思います。

また、当院の ER 当直では 1 年目のうちから救急科の先生のバックアップのもとで walk in 患者の診察を行います。上級医に相談できる環境が整っており、実践を通して救急診療スキルを身につけられることも当院の魅力だと感じています。

興味があれば是非一度、市民病院に見学に来てください！

**“ スタートダッシュを当院で ”**

研修を行うメリットとしてまず挙がるのは救急外来における初期対応・マネジメント力の向上です。内科・外科症例様々な患者さんが来院されます。豊富な症例の中で救急疾患の初期診断から治療を自分で考えるため、考える力が身につくと思います。

また救急外来だけではなく、当院では各科幅広く様々な疾患を取り扱っており、著名な医師も多く勤務しており、大学病院に負けない高い水準の治療も経験することができます。多くの救急疾患、高度な医療をどちらも経験できる病院は当院以外見当たらないと思います。充実した楽しい研修生活がおくれること間違いなしです。

是非一度当院に見学に来てください！お待ちしております！

**Yunoki Kosuke**

**柚木 宏介**

(2017 年度研修医)

**2019 年度から**

**外科 後期臨床研修医 (専  
攻医) として勤務**

**Takemoto Reiko**

**竹本 怜子**

(2016 年度研修医)

**2019 年度から**

**耳鼻咽喉科 後期臨床研修医 (専攻医) として勤務**

**Common disease から専門領域まで  
刺激な毎日を！ 是非一緒に！！”**

Common disease から専門領域など様々な疾患の診療に関わることが出来ます。

また他科との連携は多く、気兼ねなく相談できる環境です。

耳鼻咽喉科では耳、鼻、咽喉どの分野の疾患も勉強できます。手術件数も多いので扁桃 T 摘出術などは早いうちから執刀をすることが出来ます。また外来から主治医として診断治療を行うことができ、刺激的な毎日を過ごすことができます。

是非一度見学に来てください。

**“ 充実した環境と熱い指導医のもと  
楽しく充実した研修生活を！”**

病院の救急外来では、初期研修医が主体となって walk-in の患者を診察します。街の中心部ということもあり、症例、患者年齢層の幅広さは県内で随一だと思います。救急科や各科の指導医の先生とも相談しながら診療することができ、とても勉強になります。熱心な指導医の先生方が多く、病院全体も活気にあふれ、きっと皆さんも楽しく充実した研修生活を送ることができると思います。まずは、是非一度病院見学にお越しください！

**Fujimoto koji**

**藤本 耕慈**

(2017 年度研修医)

**2019 年度から**

**小児科 後期臨床研修医 (専攻医) として勤務**



1 年次



# 研修医集合



2 年次



# 熱い指導医たち



外科 手術室 主任部長  
松川 啓義  
Matsukawa Hiroyoshi

当院は全国有数の癌の手術症例があるのに加えて、ERを中心として救急医療の前線の役割を担っています。初期研修では外科指導医のみならず、外科系専門医研修で修練している多くの若手先輩外科医の、初期研修医の気持ちも解った熱心で親身な指導の下で外科診療の基礎が学べます。手術患者さんの周術期管理の実際を日々身近に経験し、縫合・結紮、開腹・閉腹法などの外科基本手技を習得し、また ER で救急医療を実践する中で外科救急疾患への初期対応能力が養われます。外科系へ針路を考えている初期研修医には、虫垂炎・ヘルニア・胆石症などの一般外科基本的手術から指導医のもとで術者経験もしてもらいます。予定手術に加えて救急疾患・緊急手術も多く、忙しくも充実した外科の基本研修が送れます。

外科後期研修では、多数の外科救急疾患やcommon diseaseの症例に対して研修医が診断・手術適応の決定し自ら執刀することを原則とします。また知識・技術の習得度に併せて悪性腫瘍手術の術者も早期から行います。当院は外科専門医研修制度で大学病院（岡山大学・広島大学・川崎医科大学・鳥取大学）プログラムの連携施設であり、かつ独自のプログラムも持った基幹施設でもあります。外科専門医研修に必要な外科 5 領域（一般消化器外科・呼吸器外科・心血管外科・小児外科・乳腺外科）の診療実績はそれぞれ非常に高く、いずれもサブスペシャリティ専門医研修の修練施設で、5 診療科で計年間 3200 例を超える NCD(national clinical database) 登録の手術症例があります。多くの手術症例の経験から後期研修で外科専門医取得に必須の手術経験が充分得られ皆さん外科専門医を取得しています。自らの力・技術で救急疾患から救命したい、癌を治せる、高難度の手術で患者さんを救える外科医になりたいという熱意のある研修医の皆さんに、スタッフ一同情熱をもって指導にあたります。



放射線診断科 主任部長  
浦島 正喜  
Urashima Masaki

必須科でない放射線診断科に毎月、初期研修医がローテイトしてくれる。

何故か？それは救急外来で CT や MRI の正確な画像診断能力が求められるからだ。問診、理学的所見や血液生化学検査などの臨床検査では対応できないトラブルや地雷が救急の現場にはころがっている。

これらのリスクを回避するため、我々は、見逃してはならない、外科的対応が必要な疾患を中心に救急画像診断学を初期研修医に惜しげもなく伝授している。諸君らが広島市民病院を初期研修施設として選択すれば、必ずや救急画像診断に秀でたトップクラスの初期研修医になれるはず。来たれ、若人よ！



小児科 主任部長  
安井 耕三  
Yasui Kozo

当科は 広島県において広島大学病院とともに日本小児科学会認定専門医基幹研修施設に認定されています。小児科専門医は 14 名、さらに小児循環器専門医・小児神経専門医・てんかん専門医・新生児専門医 感染症・血液・免疫アレルギー・膠原病・内分泌・腎臓・小児外科専門医などのサブスペシャリティの専門医を有しており、極めて濃密な指導を受けることが可能です。昨年までに後期研修を当院で終了した 6 名は小児科専門医試験を合格され、さらなる飛躍を遂げるため専門研修施設で研鑽を積んでいます。将来的にはそうした卒業生たちが当院の上級スタッフとして広島市さらには中国地方の高度医療を担ってくれるものと願っています。将来の専門性を高めるため、心臓カテーテル治療や不整脈治療のほか、免疫学研究に必要な FACS の基礎知識や内視鏡・各種エコーの診療技術向上・脳波検査判定力の習得など勉強できることは枚挙に暇がありません。



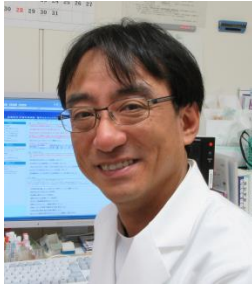
脳神経外科・脳血管内治療科  
主任部長 廣常 信之  
Hirotsune Nobuyuki

当科の最大の特徴は、実践型の研修を行っている点です。

開頭手術はもちろんのこと、カテーテルによる脳血管内手術や内視鏡手術、小児の手術等幅広く行っています。脳神経外科の指導医は 5 名、脳卒中の外科指導医・専門医 3 名、脳血管内手術は指導医 3 名・専門医 4 名、神経内視鏡は指導医 1 名・技術認定医 2 名と指導スタッフが大変充実しています。（現在、1 名留学中）

救急外来・救命救急センターを中心として急性期症例の受け入れも多く、それらの症例に対し、急性期の段階で積極的に関わって頂く、若い研修医の先生を心待ちにしています。日々充実した研修が、熱い指導の下で行えると思います。是非一緒に診療に携わり、キャリアアップしていきましょう。

# 熱い指導医たち



皮膚科 主任部長  
戸井 洋一郎  
Toi Yoichiro

当科は日本皮膚科学会認定の専門医研修施設であり皮膚科専門医 3 名、アレルギー専門医 1 名の指導体制でアトピー性皮膚炎から壊死性筋膜炎、メラノーマまで多種多様な皮膚疾患を診ています。皮膚科の面白さは何と言っても皮疹をみることで診断に至るその過程です。火曜日のカンファレンスでは臨床所見や病理所見をつきあわせて、皮膚科医にとって最も必要である皮膚を見る目を養うための症例検討を楽しく真剣に行っています。また後期研修期間中でも形成外科手術日や病理研修日を設けるなど診療科の垣根を越えた幅広い研修の中で皮膚科診療のさらなるレベルアップを目指しています。近年では乾癬の生物学的製剤やメラノーマに対する抗 PD-1 抗体・BRAF 阻害剤を用いた分子標的治療、皮膚超音波検査など最新の皮膚科診療を通して新しい時代に対応できる皮膚科医の育成に力を入れています。豊富な症例、充実した研修体制、わからないところはすぐに教えてもらえる大変やりがいのある環境の中でぜひ皮膚科の面白さ、奥深さを私たちと一緒に学びましょう。



内科 主任部長  
植松 周二  
Uematsu Shuji

当科は、消化管・肝胆膵・腎・内分泌/糖尿病・血液領域の専門医がそろっている上に、横の連携が緊密であることが特長です。ベテランスタッフも唸るような難解な疾患が入院してくることも珍しくありませんが、各専門領域の垣根を越えて一丸となって診療にあたることにより、その多くを解決しています。また、2～3ヶ月の救急科専従を必須としており、common disease から高度な専門治療を必要とする疾患まで、幅広い経験ができます。そんな環境の中で積極的に研修をすれば、他院のレジデントが羨むような力を身につけることができるでしょう。鉄は熱いうちに打たねばなりません。是非、私たちと一緒に、充実した医師生活をスタートさせましょう。



精神科 主任部長  
和田 健  
Wada Ken

当院精神科は常勤医 4 名、後期研修医 2 名のスタッフで、28 床の精神科病床も有しており、入院症例の経験もできます。

気分障害を中心に年間 280 例程度の入院があり、薬物療法、心理療法に加えて、電気けいれん療法も行っています。コンサルテーション・リエゾンサービスにも力を入れており、年間 1100 例を超える入院患者のメンタルケアに関与しています。特に、救命救急センターにおいては、365 日迅速に対応できる体制をとり、30%近くの患者に対応しています。

患者さんの「身体」と「こころ」両面を適切に診ることができ、疫学や臓器にとらわれすぎず、「病気を持つ患者さん」という全人的な視点を持てる医師になってもらうためにも、精神科での初期研修は重要であると思います。



産科 センター長  
児玉 順一  
Kodama Junichi

産婦人科には、周産期医学、婦人科腫瘍学、生殖内分泌学、女性医学の 4 つの分野があり、女性の一生をトータルでサポートする科です。初期研修では、生命誕生の瞬間に立ち会えるという他科にはない喜びをぜひ知って頂きたいと思います。当院は総合周産期母子医療センターに指定されており、年間分娩数は約 1,000 例でハイリスク妊娠および分娩を多数症例取り扱っています。また、手術件数も全国でもトップクラスで、年間約 1,500 件近い手術を行っています。特に腹腔鏡下手術には積極的に取り組んでいます。研修期間中には、幅広い分野で十分な研修を行って頂けると思いますので、ぜひ一人でも多くの先生に産婦人科の奥深さを知って頂きたいと思えます。

# 初期臨床研修から後期臨床研修（専攻医）へ



## ○後期臨床研修医（専攻医）への採用

2018年度より新たに始まりました新専門医制度において、現在当院では10領域が基幹病院として専門プログラムをスタートしました。

■ 2019年度に、当院で初期臨床研修を修了した初期研修医15名（たすき2名含む）の、2020年度後期研修医（専攻医）への採用状況は次表のとおりです。（※は、たすき）

ちなみに、当該15名のうち7名が、当院で引き続き、後期研修医（専攻医）として研修を行っています。

当院の初期臨床研修プログラムの修了者		2019年度プログラム修了者 15名（たすき2名含む）	（参考）2018年度プログラム修了者 14名（たすき1名含む）
修了者のその後	当院で後期研修医（専攻医）として勤務	7名（2020.4.1採用）	8名（2019.4.1採用）
	他医療機関で後期研修医（専攻医）として勤務	8名（2020.4.1採用） ・広島記念病院 1名 ・琉球大学病院 1名 ・広島大学病院 2名 1名※ ・天理よろづ相談所病院 1名 ・三次中央病院 1名※ ・その他 1名	6名（2019.4.1採用） ・山梨大学医学部附属病院 1名 ・東京ベイ・浦安市川医療センター1名 ・西日本産業会 1名 ・川崎医科大学付属病院 1名 ・広島大学病院 1名 ・庄原赤十字病院 1名※

■ なお、新たな専門医制度のもと、2020年度には、基幹プログラム（他病院で初期臨床研修を修了した医師を含め）6名、連携プログラム6名、合計12名の後期臨床研修医（専攻医）を迎えています。

## 【専門医制度】

### Subspecialty 専門医

診療科	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	総合診療科
基幹プログラム	●	●		●	●		●		●				●	●		●	●	
連携プログラム	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

### 専門医とは

#### About Medical Specialist

日本専門医機構が認定する「専門医」とは、それぞれの診療領域における適切な教育を受け、十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な医療を提供できる医師と定義されます。

## Q&A よくある質問

Q: 1年目の研修で当直はありますか？

A: 1年目からあります。必ず上級医や指導医がそばにいるから大丈夫です。

Q: 当直回数はどのくらいの頻度で担当するのですか？

A: 約2～3回/月です。土日は、日直も行きます。

Q: 当直体制について教えてください。

A: 内科系1名、外科系1名、整形外科（月曜日）1名、耳鼻科（金曜日）1名、循環器内科1名、脳神経外科・脳神経内科1名、産婦人科1名、小児科1名、新生児科1名、麻酔科2名、ICU〔麻酔科1名・心臓血管外科（平日）1名〕、初期臨床研修医1・2年各1名、の体制です。

Q: 救急車搬送の受け入れは多いのですか？

A: 災害拠点病院に指定されており、救急車搬入は2019年7,101件です。

Q: マッチング率は？

A: 2019年度採用選考試験は29名中13名がマッチしました。

Q: 基本プログラムの志望パターンから、2年目にその志望を大きく変えることは可能ですか？

A: 過去に志望を変更した研修医もいます。相談してください。

Q: 第1希望が2つある場合はどうすればよいでしょうか？

A: 1年目をローテしながら、進路を決定してください。

Q: 医局に入らないと後期臨床研修はできないのですか？

A: 基本入局は自由です。ただし、専門医プログラムを学会主導で開始している科については、入局の有無を確認する必要があります。

Q: 後期に残るためには初期から市民病院を選択した方がよいですか？

A: 初期から選択した方が、後期に入りやすいと思いますが、他院で初期臨床研修を修了して、当院の後期臨床研修を選択している先輩もたくさんいます。



# 優れた専門医を育成するために

## ～ 広島市民病院専門研修プログラム概要 ～

2020.8.1現在

### 1 基幹プログラム一覧

#### 内科 広島市民病院内科専門研修プログラム 研修期間：3年

研修可能領域	内科・内視鏡内科・内分泌糖尿病内科・腎臓内科・血液内科・呼吸器内科・腫瘍内科・循環器内科・脳神経内科・リウマチ 膠原病科
習得可能専門医	内科専門医・消化器病専門医・循環器専門医・呼吸器専門医・血液専門医・内分泌代謝科専門医・糖尿病専門医・腎臓専門医・肝臓専門医・アレルギー専門医・感染症専門医・神経内科専門医・リウマチ専門医
連携(関連)施設	岩国医療センター・広島市立舟入市民病院・広島通信病院・福島生協病院・JR広島病院
目的	高い倫理観を持ち、最新の標準的医療を実践し、安全な医療を心がけ、プロフェッショナルリズムに基づく患者中心の医療を提供し臓器別専門性に著しく偏ることなく全人的医療などを提供する内科専門医を育成するものです。

#### 小児科 広島市民病院小児科専門研修プログラム 研修期間：3年

研修可能領域	小児科・循環器小児科・総合周産期母子医療センター・神経小児科
習得可能専門医	日本小児科学会専門医・日本小児循環器学会専門医・小児神経専門医・小児血液 がん専門医・周産期専門医
連携(関連)施設	岡山大学病院・広島通信病院・三原赤十字病院・福山市民病院・興生総合病院
目的	小児科医は子どもの総合医であり、子供の総合診療医、育児・健康支援者、子どもの代弁者、学識・研究者、医療のプロフェッショナルの5つの資質を備えることをめざし、小児科医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成するものです。

#### 精神科 広島市立広島市民病院基幹施設精神科専門医研修プログラム 研修期間：3年

研修可能領域	精神科
習得可能専門医	日本精神神経学会専門医・日本総合病院精神医学会専門医
連携(関連)施設	広島大学病院・三原病院・瀬野川病院・草津病院・心たば病院・賀茂精神医療センター・光の丘病院・松田病院・広島第一病院・メーブルヒル病院
目的	精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえるすぐれた精神科専門医を育成するものです。

#### 外科 広島市民病院群外科専門研修プログラム 研修期間：3年

研修可能領域	外科・乳腺外科・心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科
習得可能専門医	外科専門医・消化器外科専門医・乳腺専門医・心臓血管外科専門医・呼吸器外科専門医・小児外科専門医
連携(関連)施設	庄原赤十字病院・広島市立舟入市民病院・広島通信病院・川崎医科大学付属病院
目的	専攻医が医師として必要な基本的診療能力や専門的診療能力を習得し、知識・技能・態度と高い倫理性を備え、患者に信頼され標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たし、国民の健康・福祉に貢献する外科専門医を育成するものです。

#### 産婦人科 広島市立広島市民病院産婦人科専門研修施設群専門研修プログラム 研修期間：3年

研修可能領域	産科・婦人科
習得可能専門医	日本産科婦人科学会専門医・日本婦人科腫瘍学会専門医・日本周産期新生児学会専門医(母体・胎児)・日本産婦人科内視鏡学会技術認定医・日本外科内視鏡学会技術認定医(婦人科)・日本がん治療認定医・日本女性医学学会女性ヘルスクエア専門医・日本超音波医学会超音波専門医 母体保護法指定医
連携(関連)施設	岡山大学病院・岩国医療センター・興生総合病院
目的	患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たし、県民、国民の健康に資する産婦人科医を育成するものです。

#### 耳鼻咽喉科 広島市民病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラム 研修期間：4年

研修可能領域	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
習得可能専門医	日本耳鼻咽喉科学会専門医・日本頭頸部外科学会頭頸部がん認定専門医
連携(関連)施設	岡山大学病院・熊本大学病院・福山市民病院
目的	小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、外科的治療のみならず内科的治療も必要とし、幅広い知識と医療技能の習得が求められており、医療の進歩に応じた知識・医療技能を持つ耳鼻咽喉科専門医を育成するものです。

**麻酔科 広島市立広島市民病院麻酔科専門医研修プログラム 研修期間：4年**

研修可能領域	麻酔科・集中治療部 /
習得可能専門医	麻酔科標榜医・日本麻酔科学会認定医・日本麻酔科学会専門医・日本集中治療学会専門医
連携(関連)施設	岩国医療センター・尾道市立市民病院・呉共済病院・岡山大学病院・興生総合病院・高知大学医学部付属病院・三原赤十字病院・昭和大学病院
目的	周術期の患者の生体管理を中心としながら、救急医療や集中治療における生体管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において患者の命を守り、安全で快適な医療を提供でき、国民の健康・福祉の増進に貢献する麻酔科専門医を育成するものです。

**病理 広島市民病院病理プログラム 研修期間：3年**

研修可能領域	病理診断科
習得可能専門医	日本病理学会病理専門医・死体解剖資格認定
連携(関連)施設	広島市立安佐市民病院・岡山大学病院・岩国医療センター・JA尾道総合病院・広島赤十字原爆病院
目的	多彩な症例と、指導医による指導で、安定して確実な診断を行える技能を習得することに重きを置いている。一人の専攻医を常に複数の指導医が指導・評価を行うことにより、専攻医の技能習得状況を正確に把握しながら、適切な症例数を偏りのない内容で提供することが可能であり、各専攻医を信頼に足る病理専門医に確実に育成するものです。

**救急科 広島市立広島市民病院救急科研修プログラム 研修期間：3年**

研修可能領域	救急科
習得可能専門医	日本救急医学会専門医
連携(関連)施設	広島市立安佐市民病院・岡山大学病院・広島大学病院・兵庫県災害医療センター
目的	「地域住民に救急医療へのアクセスを保障し、良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医、特にER型救急医を目指す救急医を育成するものです。

**形成外科 広島市立広島市民病院形成外科専門医研修プログラム 研修期間：4年**

研修可能領域	形成外科
習得可能専門医	日本形成外科学会専門医
連携(関連)施設	京都大学医学部附属病院・島根県立中央病院・倉敷中央病院・心石形成外科
目的	形成外科は臨床医学の一端を担うものであり、先天性あるいは後天性に生じた変形や機能障害に対して外科的手技を駆使することにより、形態および機能を回復させ患者の Quality of Life の向上に貢献する外科系専門分野です。形成外科専門医として有すべき診断能力の水準と認定のプロセスを明示するものであり、医師として必要な基本的診断能力（コアコンピテンシー）と形成外科領域の専門的能力，社会性，倫理性を備えた形成外科専門医を育成するものです。

**2 連携プログラム一覧**

診療科	基幹施設
内科	岡山大学病院・広島大学病院・岩国医療センター・福山医療センター
小児科	岡山大学病院
皮膚科	岡山大学病院
精神科	広島大学病院・岡山大学病院・岡山県精神科医療センター
外科	岡山大学病院・広島大学病院・川崎医科大学付属病院（心外）・鳥取大学病院（心外）
整形外科	広島大学病院
産婦人科	岡山大学病院
眼科	岡山大学病院
耳鼻咽喉科	岡山大学病院・熊本大学病院・国際医療福祉大学成田病院
泌尿器科	岡山大学病院
脳神経外科	岡山大学病院
放射線科	広島大学病院
麻酔科	岡山大学病院・高知大学医学部付属病院・昭和大学病院
病理	岡山大学病院・広島大学病院
臨床検査	広島大学病院
救急科	広島大学病院・岡山大学病院・兵庫県災害医療センター
形成外科	京都大学医学部附属病院・倉敷中央病院
総合診療科	広島大学病院

~~~~~オリエンテーション・CVカテーテルレクチャーの様子~~~~~



~~~~~ハイブリッド手術室~~~~~



~~~~~院内図書室~~~~~

図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境が整っています！

- 広さ（開館時間） 304 m<sup>2</sup>（開館 24 時間）
- 図書蔵書 国内 4,399 冊 国外 756 冊
- オンラインジャーナル 国内 約 1,400 タイトル 国外 約 1,000 タイトル

**UP TO DATE 導入!!**

- ◎ 医師が著したエビデンスベースの臨床意思決定支援リソース。
- ◎ 臨床医が患者ケアの現場で決断を下す際に活用されています。6,700 人を超える世界の医師著者、編集者及び査読者が、信頼性の高いエビデンスベースの推奨事項と最新の医療情報を融合。
- ◎ 186 ヶ国における 150 万人以上の臨床医とアメリカの約 90%の大学病院が、最善のケアを提供するために Up To Date を活用しているといわれています。
- ◎ イントオブケアで診断や治療の判断を下す際に、質の高い臨床情報に素早く、簡単にアクセス可能。

**モバイルアプリ**

・個人購読の契約または Up To Date Anywhere の登録で、モバイル端末からブラウザや Up To Date モバイルアプリを使用して、Up To Date の臨床意思決定支援コンテンツを閲覧可能。

**薬物相互作用**

・医師は、薬物間の相互作用や薬物・薬草間の相互作用をすばやく確認可能。(Lexicomp®と連携) Up To Date から引用論文の全文へリンクしている。(施設で論文へのアクセスを許可するサービスを契約している場合)

**最新情報 (What's New)**

・医学文献に最近掲載された重要な新情報、トピックに追加したものの要約を閲覧可能。

**検索機能・画像機能**

・多言語での検索や操作で、検索の効率がアップ。  
・高性能検索エンジンにより、数万件におよぶ写真、グラフ、動画、図などを検索可能。

**診療変更に関する最新情報**

・推奨治療法や最新情報を紹介。従前のトピックの内容に変更有る場合、通知あり。

**計算ツール**

・医療に関する様々な値をすばやく、正確に計算する機能を備える。

**患者向け教育**

・1,500 件以上の患者向け情報提供。  
・Lexicomp と連携し、EMR（電子カルテ）などの医療アプリケーションへ患者向け教育情報を組み込む。  
・医師は診察室で患者と一緒に内容を確認し、印刷して渡したり、Eメールで送付が可能。

**フィードバック**

・質問や意見をフィードバックボタンから受け付け。

**ブックマーク、履歴、最も閲覧したトピックス**

・自動同期が設定されている端末を使用して、役立つコンテンツにすばやく簡単にアクセス可能。

## ● 処遇・待遇 ●

| ● 初期臨床研修医 ● |                                                       |                           |    |
|-------------|-------------------------------------------------------|---------------------------|----|
| 雇用形態        | 嘱託職員 (7時間45分×週5日:週38時間45分)                            |                           |    |
| 休暇          | 年次有給休暇20日/夏季休暇5日ほか                                    |                           |    |
| 学会          | 参加補助有り 年1回(但し、発表がある場合に限る)                             |                           |    |
| 保険          | 協会けんぽ、厚生年金保険、<br>労働者災害保険、雇用保険に加入。<br>その他団体加盟の各種保険利用可能 |                           |    |
| 給与等         | 区分                                                    | 給与(2020年度適用)              | 賞与 |
|             | 1年次                                                   | 361,200円<br>(別途当直料+時間外手当) | なし |
|             | 2年次                                                   | 381,000円<br>(別途当直料+時間外手当) | なし |

| (参考) 後期臨床研修医 (医師免許取得3~5年目) |                                                       |              |             |
|----------------------------|-------------------------------------------------------|--------------|-------------|
| 雇用形態                       | 嘱託職員 (7時間45分×週5日:週38時間45分)                            |              |             |
| 休暇                         | 年次有給休暇20日(4月採用の場合)/夏季休暇5日/結婚休暇8日/産前産後休暇/子供の看護休暇/忌引きなど |              |             |
| 学会                         | 参加補助有り 年1回                                            |              |             |
| 保険                         | 協会けんぽ、厚生年金保険、<br>労働者災害保険、雇用保険に加入。<br>その他団体加盟の各種保険利用可能 |              |             |
| 給与等                        | 区分                                                    | 給与(2020年度適用) | 賞与          |
|                            | 3年目                                                   | 483,900円     | 年<br>2.38月分 |
|                            | 4年目                                                   | 502,600円     |             |
|                            | 5年目                                                   | 522,400円     |             |
| ※別途、時間外勤務手当・当直手当あり         |                                                       |              |             |

## ● 初期研修医宿舎 ●

**所在地**  
: 広島市内  
(病院まで自転車で10分位)

**面積**  
: 1K (約31㎡)

**家賃**  
: 月12,350円(共益費込)

## ● 保育施設 ●

敷地内に保育室があり、小さな子どもがいても安心して働ける職場環境を整えています。アットホームで親しみやすく、優しい笑顔の先生たちのもとで、毎日楽しく園生活を送っています。子どもたちが楽しく過ごせるよう、先生方が日々工夫してくれています。

- 利用できる年齢: 0歳から3歳に達する日以降の最初の3月31日まで(2020年現在)
- 保育時間: 7時から18時まで(2020年現在)
- 料金: 保育料: 22,000円/月+雑費(2020年現在)



## ● サークル活動 ●

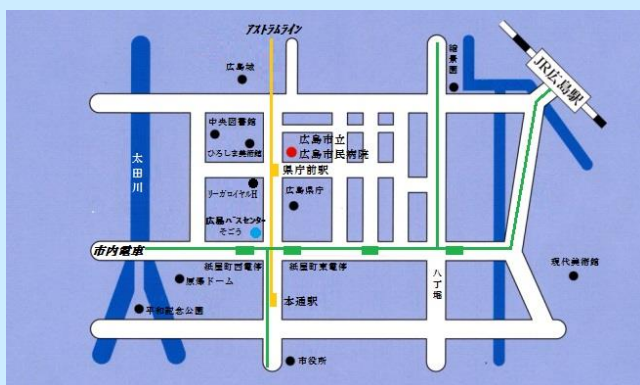
華道、手話、同好会、テニス部、野球部、  
フットサル・ゴルフ部、バスケットボール部など





## 病院概要

|        |                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 創立     | 昭和 27 年 5 月                                                                                                                                                                                                                            |
| 病院長    | 荒木 康之                                                                                                                                                                                                                                  |
| 職員数    | 総数 1,950 人<br>医師 289 人<br>医療技術職 228 人<br>看護師 1,057 人<br>事務職 253 人<br>技能業務職 123 人 (※令和 2 年 4 月現在)                                                                                                                                       |
| 名称     | 地方独立行政法人広島市立病院機構<br>広島市立広島市民病院                                                                                                                                                                                                         |
| 所在地    | 〒730-8518<br>広島市中区基町 7 番 33 号<br>電話: (082) 221-2291 FAX: (082) 223-5514                                                                                                                                                                |
| 面積・規模  | 敷地面積 / 18,079.38m <sup>2</sup><br>延床面積 / 76,476.78m <sup>2</sup><br>地下 2 階 地上 11 階                                                                                                                                                     |
| 診療科目   | 内科、呼吸器内科、循環器内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、内視鏡内科、腫瘍内科、腎臓内科、外科、整形外科、形成外科、乳腺外科、脳神経外科・脳血管内治療科、頭頸部外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、小児科、小児外科、神経小児科、循環器小児科、産科、婦人科、泌尿器科、精神科、脳神経内科、耳鼻いんこう科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、リウマチ膠原病科、救急科、病理診断科<br>(診療科目 計 37 科) |
|        | 総合診療科、緩和ケア科、人工腎臓センター、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、通院治療センター、CEセンター、健康管理室、臨床検査部、手術室、集中治療部、心臓・大血管低侵襲治療部、薬剤部、放射線技術部、栄養室、医療支援センター、医療安全管理室、看護部、事務室                                                                                                 |
| 外来診療時間 | 土曜日・日曜日・祝日及び8月6日並びに12月29日から翌年1月3日までを除く毎日<br>午前8時30分から午後5時まで                                                                                                                                                                            |
| 病床数    | 743 床                                                                                                                                                                                                                                  |



- 郊外バス/「バスセンター」下車 徒歩約7分
- 市内バス/「紙屋町」又は「県庁前」下車 徒歩約5～7分
- アストラムライン/「県庁前駅」下車 地下道直結
- JR 広島駅より  
【市内電車】 約16分「紙屋町東」下車 徒歩約7分
- JR 横川駅より  
【市内電車】 約14分「紙屋町西」下車 徒歩約7分  
【バス】 約15分「市民病院前」下車
- JR 西広島駅より  
【市内電車】 約19分「紙屋町西」下車 徒歩約7分

### 指定医療機関

保険医療機関／結核指定医療機関／原爆被爆者指定医療機関／生活保護法指定医療機関／救急病院／性病予防法指定医療機関／療養取扱機関／自立支援医療機関／地域医療支援病院／総合周産期母子医療センター／母体保護法指定医療機関／労災保険指定病院／更生医療指定医療機関／外国医師、外国歯科医師臨床修練指定病院／臨床研修指定病院／救急救命センター／地域がん診療連携拠点病院／エイズ治療中核拠点病院、エイズ治療ブロック拠点病院／災害拠点病院／臓器提供病院

### 研修施設／認定

日本内科学会内科認定医制度教育病院／日本消化器病学会認定医制度認定施設／日本肝臓学会認定施設／日本消化器内視鏡学会認定指導施設／日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設／日本呼吸器学会認定施設／日本循環器学会認定循環器専門医研修施設／日本外科学会外科専門医制度修練施設／日本消化器外科学会専門医修練施設／日本整形外科学会認定研修施設／日本形成外科学会専門医認定施設／日本脳神経外科学会認定医専門医訓練施設／日本小児科学会認定専門医研修施設／日本小児科学会認定専門医研修支援施設／日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設／日本皮膚科学会認定専門医研修施設／日本耳鼻咽喉科学会認定専門医研修施設／日本泌尿器科学会専門医教育施設／日本眼科学会専門医制度研修施設／日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関／日本麻酔科学会麻酔科認定病院／日本病理学会研修認定施設／日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設／日本小児外科学会認定施設／日本集中治療学会専門医研修施設／日本神経学会認定教育施設／日本血液学会研修認定施設／日本乳癌学会専門医制度認定施設／日本リウマチ学会教育施設／日本心血管インターベンション治療学会研修施設／日本糖尿病学会認定教育施設／呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設(基幹)／心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設／認定臨床微生物検査技師制度研修施設／日本脳卒中学会研修教育施設／日本周産期・新生児医学会周産期(新生児)専門医基幹研修施設／日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医基幹研修施設／日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設／日本小児神経学会小児神経専門医認定施設／日本透析医学会専門医制度認定施設／日本腎臓学会専門医制度研修施設／日本臨床腫瘍学会認定研修施設／日本静脈経腸栄養学会実地修練認定教育施設／日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設／日本栄養療法推進協議会NST稼働施設／日本てんかん学会認定研修施設(小児科)／日本精神神経学会認定研修施設／日本総合病院精神医学会認定研修施設／経皮心房中隔欠損閉鎖術認定施設／経皮的動脈管閉鎖術認定施設／腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医修練認定施設／日本救急科専門医指定施設／日本手外科学会認定研修施設／日本頭頸部外科学会認定頭頸部がん専門医研修施設／日本小児循環器学会認定小児循環器専門医修練施設／日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設(A)／腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術認定施設／日本顎顔面インプラント学会専門医研修施設／日本口腔外科学会関連研修施設  
日本感染症学会連携研修施設／日本高血圧学会認定研修施設／心臓血管麻酔専門医認定施設／日本大腸肛門病学会認定施設／日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設／日本急性血液浄化学会認定指定施設／再建用エキスパンダー実施認定施設／再建用インプラント実施認定施設／日本胆道学会認定指導施設／日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設／日本脳神経血管内治療学会認定施設／日本心臓血管内視鏡学会教育施設／乳房増大用エキスパンダー及びインプラント実施施設／日本臨床細胞学会教育研修施設／経力テーテルの大動脈弁置換術関連学会協議会認定施設／National Clinical Database 会員認定施設



[ 病院見学のお問い合わせ先 ]

**HIROSHIMA CITY HOSPITAL**

研修管理委員会／事務室総務課人事係

地方独立行政法人広島市立病院機構

**広島市立広島市民病院**

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

TEL : 082-221-2291 FAX : 082-223-5514

HP : <http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

E-mail : [hiro-kensyu@hcho.jp](mailto:hiro-kensyu@hcho.jp)